

評価者	都市整備部長	伊藤 昌裕
-----	--------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針

総合計画上の位置付け	分野	みどり	施策の方針	都市公園等の整備・管理
目標とすべきま ちの姿	都市公園等は、地域の特性や利用者のニーズに対応した整備・活用がされることにより、市民の憩いの場となっています。また、近隣住民の活発な参画・協働により、効率的に運営・管理されています。その結果、市民1人あたりの面積14.6㎡を確保しています。 指定管理者制度やNPOとの協働により、公園は適正に管理されています。さらに、老朽化した公園のリニューアル等にあたっては、市民との議論の場を設けて、市民のニーズを反映しています。また、公園施設の長寿命化計画に基づく改築・更新により、ライフサイクルコストの削減を図っています。 野生生物の生息・生育地として、自然の生態系と調和した都市公園等が整備され生物多様性が保全されています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	平成26年度	17.3%	平成27年度	16.9%	(回答者全体に占める割合)
-----------------------	--------	-------	--------	-------	---------------

(2) 妥当性

仕事 の 効果	お金の使い方			仕事 の 効果	お金の使い方			<妥当性の分析> お金の使い方、仕事の効果ともに「ちょうどよい」と答えた割合が最も多くなっているが、平成26年度と比較すると平成27年度は0.7%下がっている。 お金の使い方が「足りない」かつ、仕事の効果が「不十分」である割合は、平成26年度と比較すると平成27年度は5.8%上がっている。		
		使いすぎ	ちょうどよい		足りない		使いすぎ		ちょうどよい	足りない
	必要以上の効果	6.2%	1.7%		0.3%	必要以上の効果	3.6%		1.4%	0.3%
	ちょうどよい	9.2%	35.6%		0.3%	ちょうどよい	9.9%		34.9%	0.6%
	効果不十分	10.4%	5.2%	7.1%	効果不十分	10.6%	3.3%	12.9%		

平成26年度

平成27年度

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答	全体
平成26年度	21.5%	46.0%	8.8%	23.7%	100.0%
平成27年度	25.8%	43.5%	8.3%	22.5%	100.0%

2 内部評価

(1) 平成27年度の目標

平成27年度に策定を予定しているインフラマネジメント計画の中で老朽化した公園施設の予防保全的な維持管理や緑地の予防的な防災措置の手法の確立を図る。  
 公園の用地取得については、引き続き山崎・台峯緑地の用地取得を継続し、公園整備については七里ガ浜東地区街区公園再整備事業、(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地防災工事、(仮称)笛田一丁目公園整備事業を実施していく。

(2) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

整理番号	評価対象事業名 事業名	決算値(千円)		総事業費(千円)		職員数(人)		今後の方向性	
		平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	事業内容	予算規模
都整-35	緑地維持管理事業	36,691	32,179	51,788	47,450	2.0	2.0	b	A
都整-36	公園運営事業	238	170	2,503	2,461	0.3	0.3	b	B
都整-37	公園維持管理事業	276,684	293,226	291,781	308,497	2.0	2.0	b	B
都整-38	公園整備事業	260,070	83,386	282,715	98,657	3.0	2.0	b	B
都整-39	公園用地取得事業	1,201,479	1,110,828	1,231,673	1,133,735	4.0	3.0	b	B

### (3) 主な実施内容

<p><b>【主な実施内容】</b>          緑地については、良好な緑地の維持管理を図るため緑地維持管理事業を実施した。(都整-35)          既存公園については、鎌倉広町緑地に都市公園等緑化推進専門委員を配置し、樹木育成調査及び樹木病虫害防止の調査を行った。(都整-36)          指定管理者による公園の運営管理については、適切に実施されており、住民要望にも対応した業務についても適切な処理を行った。また、平成25年度に策定した長寿命化計画に基づき、13公園の遊具の修繕を実施した。(都整-37)          また、未整備の公園については、計画に基づき用地取得及び整備事業を実施した。(都整-38・39)</p> <p><b>【実施できなかった事業とその理由等】</b></p>
--

### (4) 平成27年度の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切	□ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切	□ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切	□ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切	□ 要改善

**<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>**  
 既存公園については、鎌倉広町緑地に都市公園等緑化推進専門委員を配置し、樹木育成調査及び樹木病虫害防止の調査を行った。  
 指定管理者による公園の運営管理については、適切に実施されており、住民要望にも対応した業務についても適切な処理を行った。  
 平成25年度に策定した長寿命化計画に基づき、13公園の遊具の修繕を実施した。  
 未整備の公園については、計画に基づき用地取得及び整備事業を実施した。  
 緑地については、良好な緑地の維持管理を図るため緑地維持管理事業を実施した。

### 3 評価結果や市民意識調査結果をふまえ、施策の方針等としての、今後の方向性

<p>既存公園については、引き続き指定管理者による、公園の運営管理を行い、併せて長寿命化計画に基づく修繕業務を実施していく。遊具等による事故のないよう全公園の遊具等の現状調査を行い長寿命化計画に反映させる。また未整備の公園については、計画に基づき用地取得及び整備事業を実施していく。          緑地については、防災に配慮しつつ樹木伐採等を行うことにより、良好な緑地の維持管理を図るため緑地維持管理事業を実施していく。</p>
--

### 4 平成28年度の目標

<p>平成27年度に策定したインフラマネジメント計画に基づき老朽化した公園施設の予防保全的な維持管理や緑地の予防的な防災措置の具体的手法を検討する。          公園の用地取得については、引き続き山崎・台峯緑地の用地取得を継続し、公園整備については扇湖山荘防災工事、(仮称)山崎・台峯緑地(公園)整備工事、山ノ内東瓜ヶ谷緑地整備工事を実施していく。</p>
---

### 5 主な事業における指標(目標ごとに1つ)

整理番号	都整-35	事業名	緑地維持管理事業							
指標の内容	伐採、枝払い等の要件件数に対する達成率					単位	%	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
家屋等に損害を及ぼす恐れのある危険な樹木は市民の日常生活に支障となるため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値	81.8	63.8							
	達成率	81.8%	63.8%							

参考 前年度外部評価結果への対応

鎌倉市民評価委員会からの指摘	指摘への対応、コメント等
<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業において、指標が「設定されていない」「設定されているが、効果を計るには不相当」等が見受けられるため、各事業の「意図」や「効果」が明確に計れる指標を設定して頂きたい。</li> </ul>	<p>昨年度までは指標を設定していなかったが、今年度より指標を設定した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの事業において、他の事業と一体として行った方が効率的と思われるため、事業の再構成についても協議して頂きたい。</li> </ul>	<p>他事業と協力して効率化を図るよう検討する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>緑地の維持管理、都市公園等の管理運営には市民の協力が大切である。市民とのよりよい協働を目指してほしい。</li> </ul>	<p>市民協働は大切であると認識しており、現在行っているボランティア団体との協働を引き続き継続していく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理についても多様な角度から多くの事業所が参入できるよう検討してほしい。</li> </ul>	<p>指定管理については鎌倉市都市公園指定管理者選定委員会を設置して選定を行っている。</p>



## 鎌倉市民評価委員会の評価

### 《評価できるところ》

- ・緑地維持管理が比較的良好に行われているなど、定常的業務がしっかりと実施されている。スピードが伴っていればなお良いと感じる。
- ・都市公園等の整備、管理のため、市民が積極的に参加、運営・管理に努めている。協働が進んでいる。
- ・指定管理者制度やNPOとの協働により、公園は適正に管理した。
- ・市民1人あたりの面積14.6㎡を確保した。
- ・平成25年度に策定した長寿命化計画に基づき、13公園の遊具の修繕を実施した。
- ・昨年度までは指標を設定していなかったが、今年度より指標を設定した。

		評価の内訳						⇒	委員会の評価
取組	↗	3	↘	0	→	5			↗
効果	○	0	△	1	-	7		-	

### 《課題》

- ・全体として取組が見えにくい。特に公園の運営、維持管理に関しては、定常化している印象が強い。
- ・市民との協働により、目標とすべきまちの姿に対してどの程度進捗したかが分からない。
- ・予算の過半を占める「公園用地取得事業」の取得内容が分からない。
- ・抱えている課題が明示されていないので、課題を明示し、それに対して実施した内容を記述することが求められる。

### 《提言》

- ・既存公園については、引き続き指定管理者による公園の管理運営を行いつつ、長寿命化計画に基づく修繕業務を実施していくべきであり、遊具等による事故のないよう全公園の遊具等の現状調査を行い、長寿命化計画に反映させることが重要である。
- ・楽しく魅力的な公園づくりのため、周辺住民や子どもたちの意見も取り入れるべきである。
- ・山崎・台峰緑地の用地取得の継続を進めてほしい。
- ・鎌倉市の緑地公園は、せっかく整備されてもアクセスが悪く、また、駐車場も無いことから限られた地域の市民しか利用できない。より多くの市民が活用できるよう、連絡バスを走らせる等、何らかのアクセス手段を検討すべきである。